

畜産職の業務内容について

千葉県



畜産産出額
全国 第5位

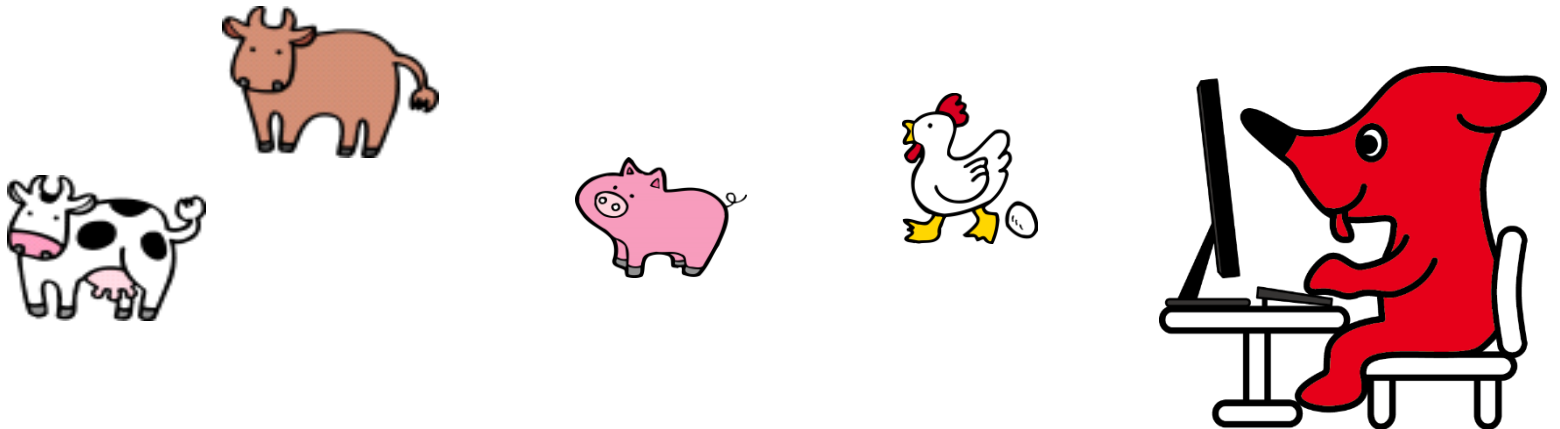


令和7年度版



《 内容 》

- ① 千葉県の畜産
- ② 畜産職で採用されたら？





畜産農家の分布（牛）

【酪農】

飼養戸数 363戸（全国6位）

飼養頭数 25,700頭（全国6位）

1戸当たり飼養頭数 70.8頭

- ・県全体に分布
- ・千葉県全体が酪農の産地

【肉用牛】

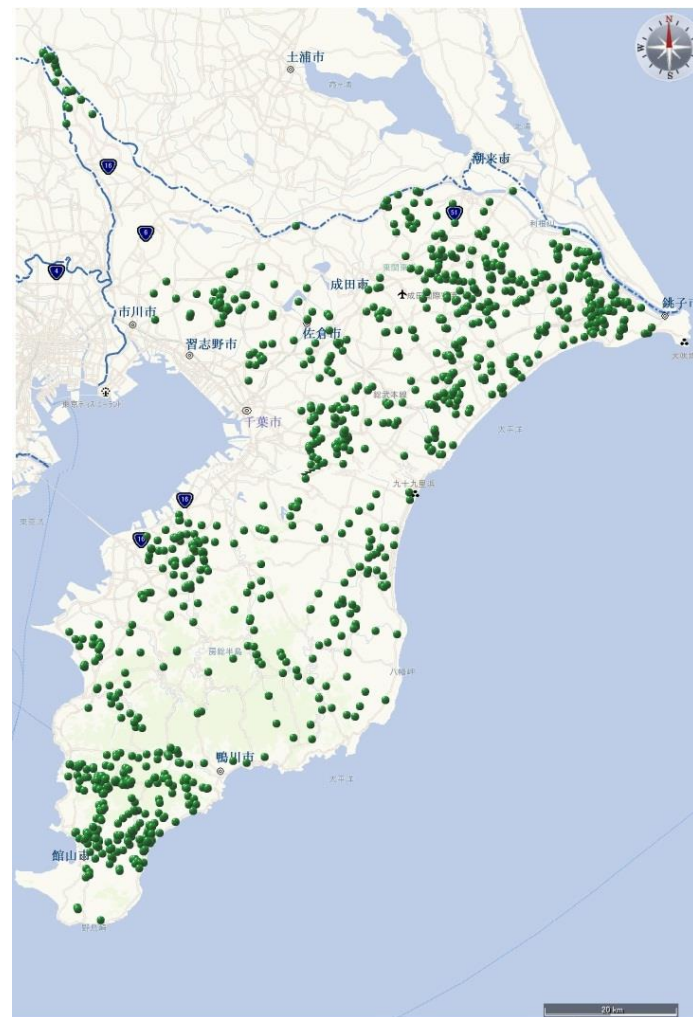
飼養戸数 222戸（全国27位）

飼養頭数 41,700頭（全国19位）

1戸当たり飼養頭数 187.8頭

- ・県北東部（香取、海匝）に
大規模層が集中

※数値は農林水産省「令和6年畜産統計」から





畜産農家の分布（豚）

【養豚】

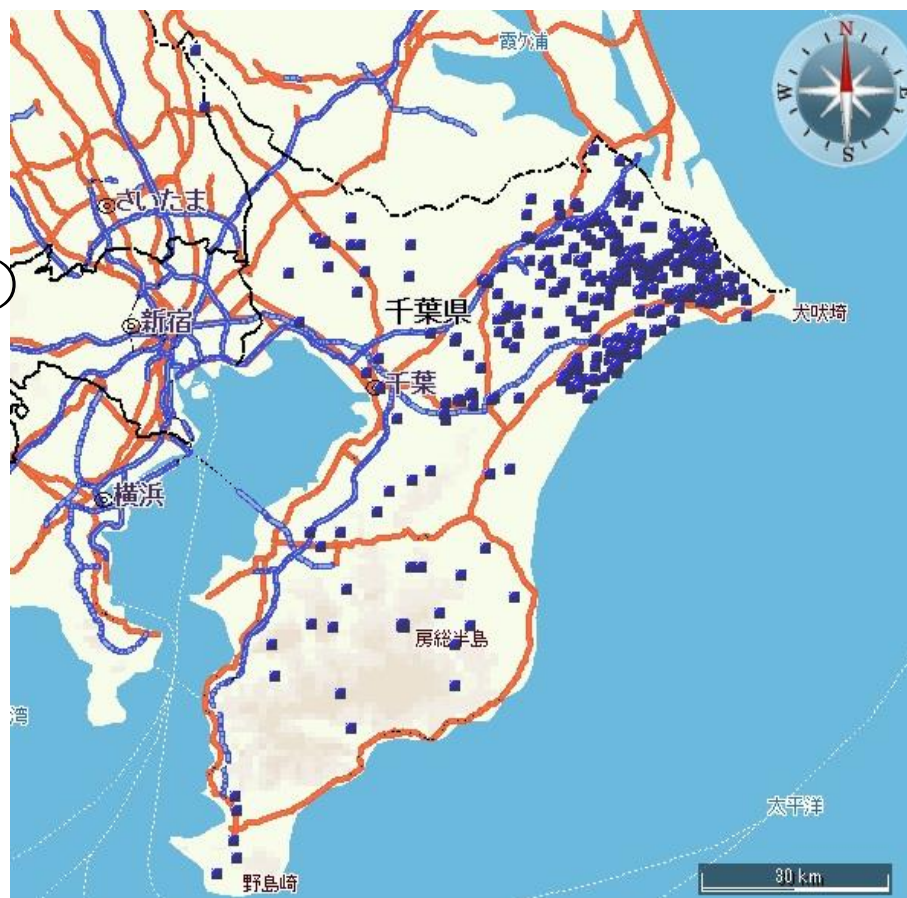
飼養戸数 216戸（全国3位）

飼養頭数 580,700頭（全国5位）

1戸当たり飼養頭数 2,688頭

- 県北東部（香取、海匝地域）に密集地帯

※数値は農林水産省「令和6年畜産統計」から





畜産農家の分布（鶏）

【採卵鶏】

飼養戸数 88戸（全国3位）
成鶏羽数 11,186千羽（全国1位）
1戸当たり成鶏羽数 127.1千羽
・県中央部（君津地域）や県北東部（香取、海匝地域）に大規模経営

【ブロイラー】

飼養戸数 24戸（全国17位）
飼養羽数 1,935千羽（全国15位）
1戸当たり飼養羽数 80.6千羽

※数値は農林水産省「令和6年畜産統計」から



畜産職の主な配属先

◆本庁

- 畜産課 → 畜産振興全般
- 販売輸出戦略課 → 販売促進、輸出拡大
- 担い手支援課 → 担い手育成・普及指導
- 農地・農村振興課 → 野生鳥獣対策
- 環境農業推進課 → 耕畜連携・環境に優しい農業

◆出先

- 農業事務所 → 地域の農業振興全般
 - ・企画振興課
 - ・改良普及課
- 畜産総合研究センター

◆派遣

- 千葉県競馬組合
 - 試験研究
 - ・本所（八街市）
 - ・市原乳牛研究所（市原市）
 - ・嶺岡乳牛研究所（南房総市）

競馬運営



畜産課

2室2班で構成

畜産業の振興に関する施策の企画・立案



〔企画経営室〕 企画、予算、畜産物の流通、販売促進など

〔生産振興班〕 牛・豚・鶏の生産振興及び改良増殖、
養蜂の振興など

〔環境飼料班〕 家畜ふん堆肥の有効利用、自給飼料の生産
拡大など

〔家畜衛生対策室〕

飼養衛生管理基準遵守徹底による
疾病の発生予防、まん延防止など



農業事務所

県内10カ所

地域の農業全般にわたる総合的な業務を取扱います

〔企画振興課〕

畜産の生産振興、自給飼料の生産拡大、
環境対策、各種事務手続きなど



〔改良普及課〕

飼養管理・自給飼料生産技術支援、
農業経営相談、担い手の育成、
新規就農の促進など



畜産総合研究センター

県内3カ所

畜産農家が求める生産性の向上・
環境に調和した畜産技術の研究開発を行います

〔本所〕

- 企画環境研究室
- 乳牛肉牛研究室
- 養豚養鶏研究室



〔市原乳牛研究所〕

〔嶺岡乳牛研究所〕



販売輸出戦略課

農林水産部

- ・ 農産物・畜産物の販売促進
- ・ 農畜産物の消費拡大、輸出拡大 など



農地・農村振興課

農林水産部

- ・ 野生鳥獣による農業被害の防止対策
- ・ 野生鳥獣肉等の利活用推進 など



千葉県競馬組合派遣

農林水産部

- ・地方競馬である船橋競馬を運営(特殊配属)
- ・委員会に所属し、執務をこなす

- ・委員長 ・副委員長 ・**裁決委員**
- ・**決勝審判委員** ・**馬場管理委員**
- ・**検量委員** ・**発走委員** ・**獣医委員**
- ・**番組編成委員** ・投票委員
- ・広報委員 ・警備委員 etc

※畜産職・獣医職が配属されたことのある委員を太字で示す

